図書館カレンダー

は、休館日です。

10月

1	1	F .

12月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13 *
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27 ★
28	29	30	31			

月	火	水	木	金	±	H	
				1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10 ★	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24 *	
25	26	27	28	29	30		

火	水	木	金	土	H	
					1	
3	4	5	6	7	8 ★	
10	11	12	13	14	15	
17	18	19	20	21	22 *	
24	25	26	27	28	29	
31		0	0			
	3 10 17 24	3 4 10 11 17 18 24 25	3 4 5 10 11 12 17 18 19 24 25 26	3 4 5 6 10 11 12 13 17 18 19 20 24 25 26 27	3 4 5 6 7 10 11 12 13 14 17 18 19 20 21 24 25 26 27 28	

★市民図書館で新たにおはなし会が増えました。



おはなし会

全館でおはなし会を行っています。 申し込みは不要ですので、お気軽にいらしてください。

乳幼児向け (0歳~)

●市民図書館●

第3金曜日 午前11時から 10月18日, 11月15日, 12月20日

●昭和分館●

第4金曜日 午前11時から 10月25日, 11月22日, 12月27日

●つつじが丘分室●

第2金曜日 午前11時から 10月11日, 11月8日, 12月13日

おとなのためのおはなし会

(10歳から)

●市民図書館●

主催:昭島おはなしの会 もぐもぐ 偶数月 第4土曜日 午後3時から 10月26日,12月28日

幼児(3歳~)と 小学生向け



●市民図書館●

毎週水曜日 午後3時から 幼児向け 毎週水曜日 午後3時30分から 小学生向け 第2・4日曜日 午前11時から 幼児向け

●昭和分館●

第1・3水曜日 午後3時から 10月2日,10月16日,11月6日, 11月20日,12月4日、12月18日

●緑分館●

第3水曜日 午後3時30分から 10月16日,11月20日,12月18日

●やまのかみ分室●

第2水曜日 午後3時から 10月9日,11月13日,12月11日

●つつじが丘分室●

第3土曜日 午後1時30分から 10月19日、11月16日、12月21日



秋の夜長に読みたいおすすめ本

能是抗党党的「

『マイナス・ゼロ』 広瀬 正/著 集英社

酷暑だった7月・8月が過ぎすごしやすくなってくる秋の夜には、じっくり読めてハラハラドキドキするSFミステリーを読んでみるのもおすすめです。

舞台は1945年の戦時中の東京。主人公は息絶えようとする隣人の「先生」から奇妙な頼まれごとをするところから始まる。それは、18年後の同じ日時に同じ場所に来てほしいというものだった。そして約束の日、約束の場所で主人公が目にした謎の機械。それは「先生」が密かに開発したタイムマシンだった。読み進めるうちに様々な謎が絡み合っていき、最後の最後には…。

最後まで目が離せないストーリー展開に時間も忘れて、秋の夜長にぜひ読みふけってもらいたい1 冊です。



『短歌パラダイス - 歌合二十四番勝負 - 』小林恭二/著 岩波書店

短歌を一対一で競わせ優劣を決める伝統行事「歌合」を現代によみがえらせ、その様子を記したのが本書です。短歌をめぐる歌人たちの攻防や解釈だけではなく、著者による読み解きもあり、解説付きの歌集としても楽しめます。

巻末には参加者の紹介と自選5首が載っているので、気になった歌人の作品を読んでみるのも面白いかもしれません。

を館スタッフ を変すすめ!

秋の夜長に読みたいおすすめ本



『深夜特急(1~6)』 沢木 耕太郎/著 新潮社

今から30年以上前の作品ですが、古さを感じなく楽しめます。インドのデリーからイギリスのロンドンまでユーラシア大陸を路線バスで放浪します。この作品は文庫版で6巻まであるので長いですが、秋の夜長にとてもふさわしい作品です。本の中で大旅行をしてみませんか。

- ・『きみに読む物語』 『もうひとつの愛の奇跡』ニコラス・スパークス/著 アーティストハウスパブリッシャーズ
- ・『13カ月と13週と13日と満月の夜』 アレックス・シアラー/著 求竜堂
- ・『変身』 フランツ・カフカ/著 新潮社
- 『翻訳できない世界のことば』 エラ・フランシス・サンダース/著 創元社
- ・『みをつくし料理帖 八朔の雪』 高田 郁/著 角川春樹事務所
- ・『江戸の家計簿』 磯田 道史/監修 宝島社
- ·『「忠<mark>臣蔵」の決算書</mark>』 山本 博文/著 新潮社
- ・『陰翳礼讃』 谷崎潤一郎/文 パイインターナショナル
- ・『きみに贈る本』 中村 文則 他/著 中央公論新社
- ・『日本語を味わう名詩入門 1宮沢賢治』 萩原 昌好/編 あすなろ書房
- 『和歌で愛しむ日本の秋冬』 松本 章男/著 新潮社
- · 『月廼野露草欆紙 上下』 昭島市教育委員会事務局生涯学習部



『ゆかいなホーマーくん』 ロバート・マックロスキー/著 岩波書店

アメリカの田舎町センターバグに住むホーマーくんのお話です。ペットのスカンクと協力して強盗を捕まえたり、ドーナツ自動製造機の故障事件に巻き込まれたり…著者の描いた1950年代ののどかなアメリカの雰囲気が楽しめます。挿絵もとても素敵です。

- ・『旅の絵本(1~9)』 安野 光雅/著 福音館書店
- ・『ローワンと魔法の地図($1 \sim 5$)』 エミリー・ロッダ/作 あすなろ書房
- ・『やまこえのこえかわこえて』 こいで やすこ/作 福音館書店
- ・『名前のない人』 C・V・オールズバーグ/絵と文 河出書房新社
- ・『はてしない物語』 ミヒャエル・エンデ/著 岩波書店
- ・『おちばであそぼう』 ひさかたチャイルド
- ・『おべんともって』 森山 京/文 偕成社
- ・『もりのてぶくろ』 八百板 洋子/文 福音館書店
- ・『ペーターという名のオオカミ』 那須田 淳/作 小峰書店
- ・『ぽっぺん先生と帰らずの沼』 舟崎 克彦/作 岩波書店



分館スタッフおすすめ!

『図鑑 日本の鳴く虫』 奥山 風太郎/著 エムピージェー

秋の風物詩!鳴く虫を調べてみませんか? あの声の正体がわかるかも!? レア度や飼い方も載っています。

『レモンをお金にかえる法 "経済学入門"の巻』 ルイズ・アームストロング/文 河出書房新社

レモンと水と砂糖でレモネードを作り売るが… お金をめぐるたった32ページの物語。子供でも 大人でも経済が分かりやすく楽しく描かれた1冊 です。続編も併せてご覧ください。



イベントを行いました!



万華鏡をつくろう

____ 昭和分館

7月6日(土)に「万華鏡をつくろう」が開催されました。 キラキラ素敵な万華鏡が出来上がりました。





夏休み科学あそび

市民図書館

7月25日(木)に「夏休み科学あそび 入門編〜見てみよう作ってみよう〜」が開催されました。今年のテーマは「ふしぎな輪」でした。絵本の読み聞かせや実験と工作を楽しみました。





学ぼう!作ろう!ほねほねアキシマクジラ

市民図書館

7月27日(土)に『海の生物調べ学習教室〜学ぼう!作ろう! ほねほねアキシマクジラ〜』が開催されました。 本を使った調べ学習をしながら、ほねほねアキシマクジラのパーツを集めて完成させるワークショップです。 どの子も真剣に取り組んでいました。





みんなでやじろべえを作ろう!

市民図書館

8月23日(金)・24日(土)に「みんなでやじろべえを作ろう!」が開催されました。真っ白なトンボや蝶々にオリジナルの色を塗り、組み立てました。みんな出来上がると、「おー!」と喜び嬉しそうに持ち帰りました。









11月は認知症月間です。

多くの図書館スタッフも認知症サポーター養成講座に参加し、認知症サポーターのオレンジリングを身につけています。

認知症について正しい知識をさらに深め、 地域の皆さんと協力していけるような 月間にしていきたいと思います。



